

2020(令和2)年

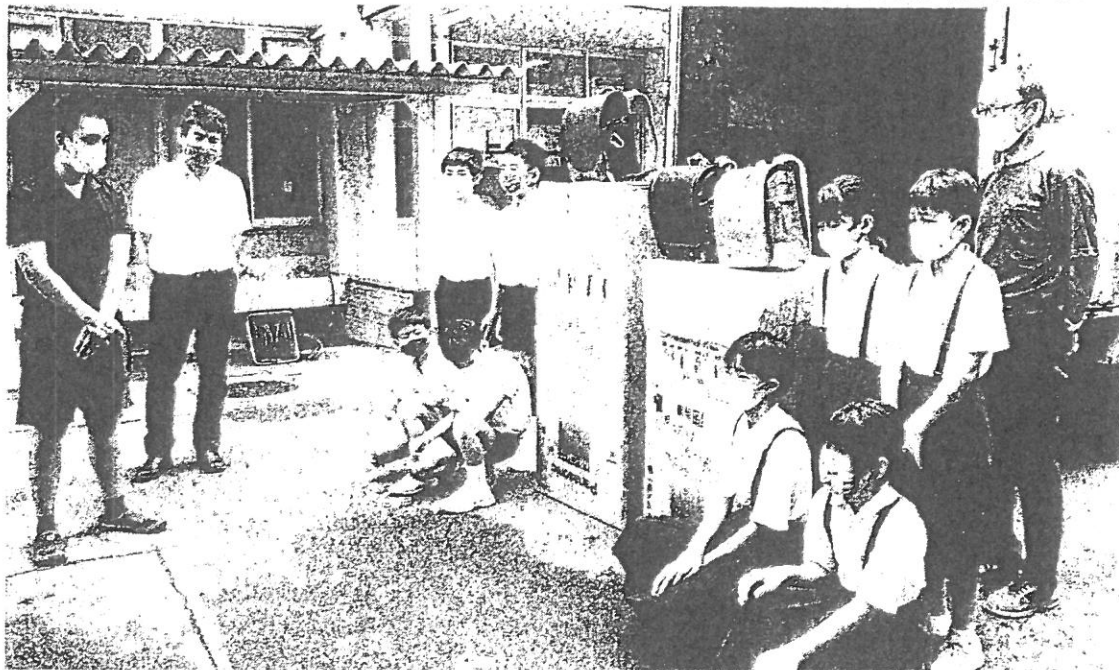
9月5日

土曜日

# 南日本新聞

ランドセルの門出を見送る児童ら

＝鹿児島市の西伊敷小学校



## 届け、アフガンへ

### 思い出ランドセル アフガンへ

鹿児島市の西伊敷小学校で1日、使わなくなったランドセルをアフガニスタンの子どもたちに贈る「出発式」があった。代表の6年生8人と教諭らが、卒業生から託された54個のランドセルをトラックに積み込み、笑顔で見送った。

同校は2004年から、

#### 西伊敷小、54個贈る

戦争や貧困で学用品などが不足するアフガニスタンの子どもたちに活用してもらおうと寄贈を始めた。現地の学校では、ランドセルを機の代わりに使うなど重宝されているという。

出発式は毎年3月にあり、自分のランドセルの門

出を見送るため卒業生が参加する。今年は新型コロナウイルスの影響でトラックの手配が間に合わず、代わりに6年生が参加した。手塚はるさんは「先輩たちの思い出が詰まったランドセルで、アフガニスタンの子どもたちに笑顔を届けられたらうれしい。卒業

時は自分も贈りたい」と話した。

ランドセルは県トラック協会の協力で神奈川県に輸送後、ランドセル用の人工皮革を生産する「クラレ」と非政府組織(NGO)の「ジョイセフ」を通じて現地の子どもたちに届けられる。

(方志優香)